

授業計画（シラバス）

【2026年度入学生対象】

東海工業専門学校金山校

① 科目名		二級建築士・計画				
② 対象学科		工業専門課程 建築ライセンス科		③ 履修学年	1	
④ 必修・選択の別		必修	⑤ 時間数	88	⑥ 単位数	3
⑦ 担当教員(代表)		近藤 幹		⑧ 実務経験		設計実務経験者
⑨ 授業形態		講義		⑩ 授業の実施方法		対面授業
⑪ 評価基準						
定期試験を各100点満点として実施し、60点以上を合格とする。						
⑫ 授業の目的・目標						
二級建築士試験の学科試験の合格を目指し、「学科Ⅰ」分野の学習を行う。各分野について過去の出題内容を踏まえ、基礎的な項目については完全習得を目指す。また、基礎的な内容に留まらず応用力をも養っていくことで、建築士として必要な技術と知識を身につける。						
⑬ 授業の概要						
過去問題の徹底分析を行い、関連することからや応用的内容まで幅広く学習する。また、各單元ごとに学習達成度を小テスト等を実施し確認する。各自の学習達成度を把握することで、以後の授業の組立てを検討しながら授業をすすめていく。						
⑭ 準備学習・事後学習						
單元ごとに小テストを行います。直前の範囲を復習してください。毎回、講義内容の2倍の自学自習を行うこと。						
⑮ 授業計画						
1	学科Ⅰ_建築史（日本建築史、西洋建築史、近代・現代建築史）	17				
2	学科Ⅰ_環境原論（気候、伝熱・結露、色彩）	18				
3	学科Ⅰ_環境原論（日照・日射）	19				
4	学科Ⅰ_環境原論（採光・音響）	20				
5	学科Ⅰ_計画各論（地域計画、計画一般）	21				
6	学科Ⅰ_計画各論（住宅、商業建築）	22				
7	学科Ⅰ_計画各論（公共施設）	23				
8	学科Ⅰ_建築設備（空気調和設備）	24				
9	学科Ⅰ_建築設備（給水設備、給湯設備）	25				
10	学科Ⅰ_建築設備（排水・衛生設備）	26				
11	学科Ⅰ_建築設備（電気・照明設備、消火・防災設備）	27				
12		28				
13		29				
14		30				
15		31				
16		32				
⑰ その他		教科書	二級建築士学科 受験テキスト（学科Ⅰ計画）	出版社：	日建学院	
		教材	配布資料	著者：		
備考	⑮については、50分授業を1単位時間とする。単位換算については講義・演習は15単位時間を1単位、実験・実習・実技は30単位時間を1単位とする。また、単位換算は小数点以下を切り捨てる。ただし、0.5以上1.0未満のものは0.5単位とする。				科目コード	050101

授業計画（シラバス）

【2026年度入学生対象】

東海工業専門学校金山校

① 科目名		二級建築士・法規				
② 対象学科		工業専門課程 建築ライセンス科		③ 履修学年	1	
④ 必修・選択の別		必修	⑤ 時間数	88	⑥ 単位数	3
⑦ 担当教員(代表)		遠藤 忠俊		⑧ 実務経験		設計実務経験者
⑨ 授業形態		講義		⑩ 授業の実施方法		対面授業
⑪ 評価基準						
定期試験を各100点満点として実施し、60点以上を合格とする。						
⑫ 授業の目的・目標						
二級建築士試験の学科試験の合格を目指し、「学科Ⅱ」分野の学習を行う。各分野について過去の出題内容を踏まえ、基礎的な項目については完全習得を目指す。また、基礎的な内容に留まらず応用力をも養っていくことで、建築士として必要な技術と知識を身につける。						
⑬ 授業の概要						
過去問題の徹底分析を行い、関連することからや応用的内容まで幅広く学習する。また、各單元ごとに学習達成度を小テスト等を実施し確認する。各自の学習達成度を把握することで、以後の授業の組立てを検討しながら授業をすすめていく。						
⑭ 準備学習・事後学習						
單元ごとに小テストを行います。直前の範囲を復習してください。毎回、講義内容の2倍の自学自習を行うこと。						
⑮ 授業計画						
1	学科Ⅱ_総則（用語の定義）		17			
2	学科Ⅱ_総則（手続き等）		18			
3	学科Ⅱ_一般構造（採光、天井高、換気、シックハウス）		19			
4	学科Ⅱ_構造強度（構造方法、仕様規定）		20			
5	学科Ⅱ_防火関係（耐火建築物等、防火地域）		21			
6	学科Ⅱ_防火地域等（防火区画、内装制限、避難施設）		22			
7	学科Ⅱ_都市計画区域内等の制限（道路、用途地域）		23			
8	学科Ⅱ_都市計画区域内等の制限（建蔽率、容積率）		24			
9	学科Ⅱ_都市計画区域内等の制限（高さ制限）		25			
10	学科Ⅱ_都市計画区域内等の制限（日影規制、地区、街区、雑則）		26			
11	学科Ⅱ_その他法令（建築士法、建設業法、バリアフリー法、耐震改修、都市計画）		27			
12			28			
13			29			
14			30			
15			31			
16			32			
⑰ その他		教科書	二級建築士学科 受験テキスト（学科Ⅱ計画）		出版社：	日建学院
		教材	配布資料		著者：	
備考	⑤については、50分授業を1単位時間とする。単位換算については講義・演習は15単位時間を1単位、実験・実習・実技は30単位時間を1単位とする。また、単位換算は小数点以下を切り捨てる。ただし、0.5以上1.0未満のものは0.5単位とする。				科目コード	050102

授業計画（シラバス）

【2026年度入学生対象】

東海工業専門学校金山校

① 科目名		二級建築士・構造				
② 対象学科		工業専門課程 建築ライセンス科		③ 履修学年	1	
④ 必修・選択の別		必修	⑤ 時間数	88	⑥ 単位数	3
⑦ 担当教員(代表)		内藤 義幸		⑧ 実務経験		設計実務経験者
⑨ 授業形態		講義		⑩ 授業の実施方法		対面授業
⑪ 評価基準						
定期試験を各100点満点として実施し、60点以上を合格とする。						
⑫ 授業の目的・目標						
二級建築士試験の学科試験の合格を目指し、「学科Ⅲ」分野の学習を行う。各分野について過去の出題内容を踏まえ、基礎的な項目については完全習得を目指す。また、基礎的な内容に留まらず応用力をも養っていくことで、建築士として必要な技術と知識を身につける。						
⑬ 授業の概要						
過去問題の徹底分析を行い、関連することからや応用的内容まで幅広く学習する。また、各單元ごとに学習達成度を小テスト等を実施し確認する。各自の学習達成度を把握することで、以後の授業の組立てを検討しながら授業をすすめていく。						
⑭ 準備学習・事後学習						
單元ごとに小テストを行います。直前の範囲を復習してください。毎回、講義内容の2倍の自学自習を行うこと。						
⑮ 授業計画						
1	学科Ⅲ_構造力学（力のつり合い、反力、静定構造物の応力）	17				
2	学科Ⅲ_構造力学（静定トラスの応力、断面性質）	18				
3	学科Ⅲ_構造力学（応力度、許容応力度）	19				
4	学科Ⅲ_建築材料（木材、コンクリート）	20				
5	学科Ⅲ_建築材料（鋼材、ガラス、石材等）	21				
6	学科Ⅲ_一般構造（荷重・外力、地盤・基礎構造）	22				
7	学科Ⅲ_一般構造（木構造）	23				
8	学科Ⅲ_一般構造（鉄筋コンクリート構造）	24				
9	学科Ⅲ_一般構造（鉄骨造）	25				
10	学科Ⅲ_一般構造（その他の構造）	26				
11	学科Ⅲ_一般構造（構造設計）	27				
12		28				
13		29				
14		30				
15		31				
16		32				
⑰ その他		教科書	二級建築士学科 受験テキスト（学科Ⅲ計画）	出版社：	日建学院	
		教材	配布資料	著者：		
備考	⑮については、50分授業を1単位時間とする。単位換算については講義・演習は15単位時間を1単位、実験・実習・実技は30単位時間を1単位とする。また、単位換算は小数点以下を切り捨てる。ただし、0.5以上1.0未満のものは0.5単位とする。				科目コード	050103

授業計画（シラバス）

【2026年度入学生対象】

東海工業専門学校金山校

① 科目名		二級建築士・施工				
② 対象学科		工業専門課程 建築ライセンス科		③ 履修学年	1	
④ 必修・選択の別		必修	⑤ 時間数	88	⑥ 単位数	3
⑦ 担当教員(代表)		石橋 敦士		⑧ 実務経験		施工実務経験者
⑨ 授業形態		講義		⑩ 授業の実施方法		対面授業
⑪ 評価基準						
定期試験を各100点満点として実施し、60点以上を合格とする。						
⑫ 授業の目的・目標						
二級建築士試験の学科試験の合格を目指し、「学科Ⅳ」分野の学習を行う。各分野について過去の出題内容を踏まえ、基礎的な項目については完全習得を目指す。また、基礎的な内容に留まらず応用力をも養っていくことで、建築士として必要な技術と知識を身につける。						
⑬ 授業の概要						
過去問題の徹底分析を行い、関連することからや応用的内容まで幅広く学習する。また、各單元ごとに学習達成度を小テスト等を実施し確認する。各自の学習達成度を把握することで、以後の授業の組立てを検討しながら授業をすすめていく。						
⑭ 準備学習・事後学習						
單元ごとに小テストを行います。直前の範囲を復習してください。毎回、講義内容の2倍の自学自習を行うこと。						
⑮ 授業計画						
1	学科Ⅳ_工事契約（設計図書、仕様書、契約約款、施工計画、工程計画）	17				
2	学科Ⅳ_工事管理（安全衛生管理、材料管理、各種届出）	18				
3	学科Ⅳ_地盤調査・測量、仮設工事	19				
4	学科Ⅳ_土工事・基礎地業工事	20				
5	学科Ⅳ_鉄筋コンクリート工事（鉄筋工事、型枠工事）	21				
6	学科Ⅳ_鉄筋コンクリート工事（コンクリート工事、品質管理）	22				
7	学科Ⅳ_鉄骨工事	23				
8	学科Ⅳ_ブロック工事、木工事、防水工事、屋根工事	24				
9	学科Ⅳ_左官工事、タイル・張石工事	25				
10	学科Ⅳ_塗装工事、建具工事、ガラス工事	26				
11	学科Ⅳ_内装・断熱工事、改修工事、設備工事、用語・機械、積算	27				
12		28				
13		29				
14		30				
15		31				
16		32				
⑰ その他		教科書	二級建築士学科 受験テキスト（学科Ⅳ計画）	出版社：	日建学院	
		教材	配布資料	著者：		
備考	⑮については、50分授業を1単位時間とする。単位換算については講義・演習は15単位時間を1単位、実験・実習・実技は30単位時間を1単位とする。また、単位換算は小数点以下を切り捨てる。ただし、0.5以上1.0未満のものは0.5単位とする。				科目コード	050104

授業計画（シラバス）

【2026年度入学生対象】

東海工業専門学校金山校

① 科目名		二級建築士・製図				
② 対象学科		工業専門課程 建築ライセンス科		③ 履修学年	1	
④ 必修・選択の別		必修	⑤ 時間数	330	⑥ 単位数	11
⑦ 担当教員(代表)		遠藤 忠俊		⑧ 実務経験		設計実務経験者
⑨ 授業形態		実習		⑩ 授業の実施方法		対面授業
⑪ 評価基準						
提出課題を各100点満点として実施し、60点以上を合格とする。						
⑫ 授業の目的・目標						
二級建築士設計製図課題に対する、計画手法を学びまた、作図技術を向上させ、実技試験合格を目差す。建築物を設計することで、建築士の責任意識を高め社会から歓迎される人柄を養い、即戦力として活躍出来る人材に育てる。						
⑬ 授業の概要						
製図の実習形式で、計画から作図の演習を行い、建築設計図の基本を認識し、模擬問題を通して設計課題製図に対する実技の修得をする。						
⑭ 準備学習・事後学習						
各授業で実践課題を課すので、復習を兼ねて期日まで2時間以上取り組むこと。						
⑮ 授業計画						
1	二級建築士設計課題図面 標準図（配置図兼1階平面図・2階平面図）の作成	17				
2	二級建築士設計課題図面 標準図（立面図・断面図）の作成	18				
3	二級建築士設計課題図面 標準図（矩計図・部分詳細図）の作成	19				
4	二級建築士設計課題図面 標準図（床伏せ図・小屋伏せ図）の作成	20				
5	二級建築士設計課題図面 設計課題①（エスキスから作図まで）	21				
6	二級建築士設計課題図面 設計課題②（エスキスから作図まで）	22				
7	二級建築士設計課題図面 設計課題③（エスキスから作図まで）	23				
8	二級建築士設計課題図面 設計課題④（エスキスから作図まで）	24				
9	二級建築士設計課題図面 設計課題⑤（エスキスから作図まで）	25				
10	二級建築士設計課題図面 設計課題⑥（エスキスから作図まで）	26				
11	二級建築士設計課題図面 模擬試験	27				
12		28				
13		29				
14		30				
15		31				
16		32				
⑰ その他		教科書	二級建築士 設計製図 基礎	出版社：	日建学院	
		教材	テキスト	著者：		
			配布資料			
備考	⑮については、50分授業を1単位時間とする。単位換算については講義・演習は15単位時間を1単位、実験・実習・実技は30単位時間を1単位とする。また、単位換算は小数点以下を切り捨てる。ただし、0.5以上1.0未満のものは0.5単位とする。				科目コード	050106

授業計画（シラバス）

【2026年度入学生対象】

東海工業専門学校金山校

① 科目名		一級建築士・計画	
② 対象学科		工業専門課程 建築ライセンス科	
④ 必修・選択の別		⑤ 時間数	33
⑦ 担当教員(代表)		⑧ 実務経験	設計実務経験者
⑨ 授業形態		⑩ 授業の実施方法	対面授業
⑪ 評価基準			
定期試験を各100点満点として実施し、60点以上を合格とする。			
⑫ 授業の目的・目標			
一級建築士試験の学科試験の合格を目指し、「学科Ⅰ」分野の学習を行う。各分野について過去の出題内容を踏まえ、基礎的な項目については完全習得を目指す。また、基礎的な内容に留まらず応用力をも養っていくことで、建築士として必要な技術と知識を身につける。			
⑬ 授業の概要			
過去問題の徹底分析を行い、関連することがらや応用的内容までを幅広く学習する。また、各单元ごとに学習達成度を小テスト等を実施し確認する。各自の学習達成度を把握することで、以後の授業の組立てを検討しながら授業をすすめていく。			
⑭ 準備学習・事後学習			
单元ごとに小テストを行います。直前の範囲を復習してください。毎回、講義内容の2倍の自学自習を行うこと。			
⑮ 授業計画			
1	学科Ⅰ_建築士の職責、建築設計の手法	17	
2	学科Ⅰ_居住施設	18	
3	学科Ⅰ_学校教育施設	19	
4	学科Ⅰ_社会教育施設	20	
5	学科Ⅰ_医療施設	21	
6	学科Ⅰ_高齢者施設	22	
7	学科Ⅰ_商業施設	23	
8	学科Ⅰ_細部計画	24	
9	学科Ⅰ_建築積算	25	
10	学科Ⅰ_都市計画	26	
11	学科Ⅰ_建築生産（マネジメント）	27	
12		28	
13		29	
14		30	
15		31	
16		32	
⑰ その他		教科書	一級建築士学科 受験テキスト (学科Ⅰ計画)
		教材	配布資料
備考		⑮については、50分授業を1単位時間とする。単位換算については講義・演習は15単位時間を1単位、実験・実習・実技は30単位時間を1単位とする。また、単位換算は小数点以下を切り捨てる。ただし、0.5以上1.0未満のものは0.5単位とする。	科目コード 050111

授業計画（シラバス）

【2026年度入学生対象】

東海工業専門学校金山校

① 科目名		一級建築士・環境設備				
② 対象学科		工業専門課程 建築ライセンス科		③ 履修学年	1	
④ 必修・選択の別		必修	⑤ 時間数	55	⑥ 単位数	2
⑦ 担当教員(代表)		長谷川 稔紘		⑧ 実務経験		設計実務経験者
⑨ 授業形態		講義		⑩ 授業の実施方法		対面授業
⑪ 評価基準						
定期試験を各100点満点として実施し、60点以上を合格とする。						
⑫ 授業の目的・目標						
一級建築士試験の学科試験の合格を目指し、「学科Ⅱ」分野の学習を行う。各分野について過去の出題内容を踏まえ、基礎的な項目については完全習得を目指す。また、基礎的な内容に留まらず応用力をも養っていくことで、建築士として必要な技術と知識を身につける。						
⑬ 授業の概要						
過去問題の徹底分析を行い、関連することがらや応用的内容までを幅広く学習する。また、各单元ごとに学習達成度を小テスト等を実施し確認する。各自の学習達成度を把握することで、以後の授業の組立てを検討しながら授業をすすめていく。						
⑭ 準備学習・事後学習						
单元ごとに小テストを行います。直前の範囲を復習してください。毎回、講義内容の2倍の自学自習を行うこと。						
⑮ 授業計画						
1	学科Ⅱ_環境工学（日照・日射）		17			
2	学科Ⅱ_環境工学（採光・照明・色彩）		18			
3	学科Ⅱ_環境工学（室内気候と気象）		19			
4	学科Ⅱ_環境工学（換気）		20			
5	学科Ⅱ_環境工学（熱・結露）		21			
6	学科Ⅱ_環境工学（音響）		22			
7	学科Ⅱ_建築設備（空気調和設備）		23			
8	学科Ⅱ_建築設備（省エネルギー・保全・管理）		24			
9	学科Ⅱ_建築設備（給排水・衛生設備）		25			
10	学科Ⅱ_建築設備（電気設備・昇降機設備）		26			
11	学科Ⅱ_建築設備（防火・防災設備）		27			
12			28			
13			29			
14			30			
15			31			
16			32			
⑰ その他		教科書	一級建築士学科 受験テキスト（学科Ⅱ計画）	出版社：	総合資格学院	
		教材	配布資料	著者：		
備考	⑮については、50分授業を1単位時間とする。単位換算については講義・演習は15単位時間を1単位、実験・実習・実技は30単位時間を1単位とする。また、単位換算は小数点以下を切り捨てる。ただし、0.5以上1.0未満のものは0.5単位とする。				科目コード	050112

授業計画（シラバス）

【2026年度入学生対象】

東海工業専門学校金山校

① 科目名		一級建築士・法規				
② 対象学科		工業専門課程 建築ライセンス科		③ 履修学年	1	
④ 必修・選択の別		必修	⑤ 時間数	88	⑥ 単位数	3
⑦ 担当教員(代表)		藤田 隼人		⑧ 実務経験		設計実務経験者
⑨ 授業形態		講義		⑩ 授業の実施方法		対面授業
⑪ 評価基準						
定期試験を各100点満点として実施し、60点以上を合格とする。						
⑫ 授業の目的・目標						
一級建築士試験の学科試験の合格を目指し、「学科Ⅲ」分野の学習を行う。各分野について過去の出題内容を踏まえ、基礎的な項目については完全習得を目指す。また、基礎的な内容に留まらず応用力をも養っていくことで、建築士として必要な技術と知識を身につける。						
⑬ 授業の概要						
過去問題の徹底分析を行い、関連することがらや応用的内容までを幅広く学習する。また、各单元ごとに学習達成度を小テスト等を実施し確認する。各自の学習達成度を把握することで、以後の授業の組立てを検討しながら授業をすすめていく。						
⑭ 準備学習・事後学習						
单元ごとに小テストを行います。直前の範囲を復習してください。毎回、講義内容の2倍の自学自習を行うこと。						
⑮ 授業計画						
1	学科Ⅲ_用語の定義、面積・高さ	17				
2	学科Ⅲ_確認申請、建築手続き	18				
3	学科Ⅲ_一般構造	19				
4	学科Ⅲ_防火区画、耐火、防火、防火地域、準防火地域	20				
5	学科Ⅲ_避難施設、内装制限、建築設備	21				
6	学科Ⅲ_構造強度、道路、用途地域	22				
7	学科Ⅲ_容積率、建蔽率、高さ制限	23				
8	学科Ⅲ_地区計画、建築協定、雑則	24				
9	学科Ⅲ_建築士法、都市計画法	25				
10	学科Ⅲ_建設業法、消防法、バリアフリー法	26				
11	学科Ⅲ_その他関係法令	27				
12		28				
13		29				
14		30				
15		31				
16		32				
⑰ その他		教科書	一級建築士学科 受験テキスト (学科Ⅲ計画)	出版社:	総合資格学院	
		教材	配布資料	著者:		
備考	⑤については、50分授業を1単位時間とする。単位換算については講義・演習は15単位時間を1単位、実験・実習・実技は30単位時間を1単位とする。また、単位換算は小数点以下を切り捨てる。ただし、0.5以上1.0未満のものは0.5単位とする。				科目コード	050113

授業計画（シラバス）

【2026年度入学生対象】

東海工業専門学校金山校

① 科目名		一級建築士・構造				
② 対象学科		工業専門課程 建築ライセンス科		③ 履修学年	1	
④ 必修・選択の別		必修	⑤ 時間数	88	⑥ 単位数	3
⑦ 担当教員(代表)		高野 太輔		⑧ 実務経験	施工実務経験者	
⑨ 授業形態		講義		⑩ 授業の実施方法	対面授業	
⑪ 評価基準						
定期試験を各100点満点として実施し、60点以上を合格とする。						
⑫ 授業の目的・目標						
一級建築士試験の学科試験の合格を目指し、「学科Ⅳ」分野の学習を行う。各分野について過去の出題内容を踏まえ、基礎的な項目については完全習得を目指す。また、基礎的な内容に留まらず応用力をも養っていくことで、建築士として必要な技術と知識を身につける。						
⑬ 授業の概要						
過去問題の徹底分析を行い、関連することがらや応用的内容までを幅広く学習する。また、各单元ごとに学習達成度を小テスト等を実施し確認する。各自の学習達成度を把握することで、以後の授業の組立てを検討しながら授業をすすめていく。						
⑭ 準備学習・事後学習						
单元ごとに小テストを行います。直前の範囲を復習してください。毎回、講義内容の2倍の自学自習を行うこと。						
⑮ 授業計画						
1	学科Ⅳ_構造力学（静定構造物、断面の性質と応力度、部材の変形）	17				
2	学科Ⅳ_構造力学（不静定構造物、座屈）	18				
3	学科Ⅳ_構造力学（振動、塑性解析）	19				
4	学科Ⅳ_建築材料（木材と木質材料、鋼材と金属材料、コンクリート）	20				
5	学科Ⅳ_各種構造（構造計画）	21				
6	学科Ⅳ_各種構造（構造計算）	22				
7	学科Ⅳ_各種構造（木質構造）	23				
8	学科Ⅳ_各種構造（鉄骨構造）	24				
9	学科Ⅳ_各種構造（鉄筋コンクリート構造）	25				
10	学科Ⅳ_各種構造（合成構造、プレストレストコンクリート造）	26				
11	学科Ⅳ_各種構造（制振構造、免震構造、壁構造、組積造、基礎構造）	27				
12		28				
13		29				
14		30				
15		31				
16		32				
⑯ その他		教科書	一級建築士学科 受験テキスト（学科Ⅳ計画）	出版社：	総合資格学院	
		教材	配布資料	著者：		
備考	⑮については、50分授業を1単位時間とする。単位換算については講義・演習は15単位時間を1単位、実験・実習・実技は30単位時間を1単位とする。また、単位換算は小数点以下を切り捨てる。ただし、0.5以上1.0未満のものは0.5単位とする。				科目コード	050114

授業計画（シラバス）

【2026年度入学生対象】

東海工業専門学校金山校

① 科目名		一級建築士・施工	
② 対象学科		工業専門課程 建築ライセンス科	
④ 必修・選択の別		⑤ 時間数	88
⑦ 担当教員(代表)		⑧ 実務経験	施工実務経験者
⑨ 授業形態		⑩ 授業の実施方法	対面授業
⑪ 評価基準			
定期試験を各100点満点として実施し、60点以上を合格とする。			
⑫ 授業の目的・目標			
一級建築士試験の学科試験の合格を目指し、「学科V」分野の学習を行う。各分野について過去の出題内容を踏まえ、基礎的な項目については完全習得を目指す。また、基礎的な内容に留まらず応用力をも養っていくことで、建築士として必要な技術と知識を身につける。			
⑬ 授業の概要			
過去問題の徹底分析を行い、関連することがらや応用的内容までを幅広く学習する。また、各单元ごとに学習達成度を小テスト等を実施し確認する。各自の学習達成度を把握することで、以後の授業の組立てを検討しながら授業をすすめていく。			
⑭ 準備学習・事後学習			
单元ごとに小テストを行います。直前の範囲を復習してください。毎回、講義内容の2倍の自学自習を行うこと。			
⑮ 授業計画			
1	学科V_施工計画、工程管理、工事監理、工事管理	17	
2	学科V_現場管理、建設業法、環境関連、材料管理、申請・届出	18	
3	学科V_測量、地盤調査、仮設工事、土工事・山留工事	19	
4	学科V_基礎工事、鉄筋工事、型枠工事	20	
5	学科V_コンクリート工事、プレキャスト工事、鉄骨工事	21	
6	学科V_メンソーリー工事、ALCパネル工事、ECP工事	22	
7	学科V_木工事、防水工事	23	
8	学科V_張石工事、タイル工事、左官工事	24	
9	学科V_屋根・金属工事、カーテンウォール・ガラス工事	25	
10	学科V_内装工事、塗装工事	26	
11	学科V_改修工事、設備工事、施工機械	27	
12		28	
13		29	
14		30	
15		31	
16		32	
⑰ その他		教科書 教材	一級建築士学科 受験テキスト (学科V計画) 配布資料
		出版社： 著者：	総合資格学院
備考	⑮については、50分授業を1単位時間とする。単位換算については講義・演習は15単位時間を1単位、実験・実習・実技は30単位時間を1単位とする。また、単位換算は小数点以下を切り捨てる。ただし、0.5以上1.0未満のものは0.5単位とする。		科目コード 050115

授業計画（シラバス）

【2026年度入学生対象】

東海工業専門学校金山校

① 科目名		一級建築士・製図	
② 対象学科		工業専門課程 建築ライセンス科	③ 履修学年 1
④ 必修・選択の別		必修	⑤ 時間数 330
⑦ 担当教員(代表)		藤田 隼人	⑥ 単位数 11
⑧ 実務経験		設計実務経験者	
⑨ 授業形態		実習	⑩ 授業の実施方法 対面授業
⑪ 評価基準			
提出課題を各100点満点として実施し、60点以上を合格とする。			
⑫ 授業の目的・目標			
一級建築士設計製図課題に対する、計画手法を学びまた、作図技術を向上させ、実技試験合格を目差す。建築物を設計することで、建築士の責任意識を高め社会から歓迎される人柄を養い、即戦力として活躍出来る人材に育てる。			
⑬ 授業の概要			
製図の実習形式で、計画から作図の演習を行い、建築設計図の基本を認識し、模擬問題を通して設計課題製図に対する実技の修得をする。			
⑭ 準備学習・事後学習			
各授業で実践課題を課すので、復習を兼ねて期日まで2時間以上取り組むこと。			
⑮ 授業計画			
1	一級建築士設計課題図面 標準図（平面図）の作成	17	
2	一級建築士設計課題図面 標準図（断面図）の作成	18	
3	一級建築士設計課題図面 標準図（読み取り、構造計画、設備計画）	19	
4	一級建築士設計課題図面 標準図（一式図）の作成	20	
5	一級建築士設計課題図面 設計課題①（エスキスから作図まで）	21	
6	一級建築士設計課題図面 設計課題②（エスキスから作図まで）	22	
7	一級建築士設計課題図面 設計課題③（エスキスから作図まで）	23	
8	一級建築士設計課題図面 設計課題④（エスキスから作図まで）	24	
9	一級建築士設計課題図面 設計課題⑤（エスキスから作図まで）	25	
10	一級建築士設計課題図面 設計課題⑥（エスキスから作図まで）	26	
11	一級建築士設計課題図面 模擬試験	27	
12		28	
13		29	
14		30	
15		31	
16		32	
⑰ その他		教科書 教材	一級建築士 設計製図 基礎 出版社： 総合資格学院 著者： 配布資料
備考	⑮については、50分授業を1単位時間とする。単位換算については講義・演習は15単位時間を1単位、実験・実習・実技は30単位時間を1単位とする。また、単位換算は小数点以下を切り捨てる。ただし、0.5以上1.0未満のものは0.5単位とする。		科目コード 050117

授業計画（シラバス）

【2026年度入学生対象】

東海工業専門学校金山校

① 科目名		確認申請	
② 対象学科		工業専門課程 建築ライセンス科	
④ 必修・選択の別		⑤ 時間数	50
⑦ 担当教員(代表)		⑧ 実務経験	設計実務経験者
⑨ 授業形態		⑩ 授業の実施方法	対面授業
⑪ 評価基準			
提出課題を各100点満点として実施し、60点以上を合格とする。			
⑫ 授業の目的・目標			
建築関係法規を習得した学生を対象とした実習科目であり、実務で行う建築確認申請手続き手順や方法を習得させることを目的とする。			
⑬ 授業の概要			
実務としての建築関係法令を学習するため、一戸建て住宅の申請書および添付図面、計画概要書、工事計画届、完了検査申請書を作成する。			
⑭ 準備学習・事後学習			
学習内容について、事前に内容を1時間程度確認しておくこと。毎回、演習内容と同じ自学自習を行うこと。			
⑮ 授業計画			
1	関係法令説明（法第6条、第6条の2）	17	
2	関係法令説明（法第7条、第7条の3、第15条）	18	
3	規定課題による設計（壁量計算）	19	
4	規定課題による設計（壁率比の計算）	20	
5	確認申請図面の作成	21	
6	確認申請図面の作成	22	
7	確認申請図面の作成	23	
8	確認申請書・計画概要書の作成	24	
9	建築工事届・完了検査申請書の作成	25	
10		26	
11		27	
12		28	
13		29	
14		30	
15		31	
16		32	
⑰ その他		教科書	出版社：
		教材	著者：
		配布資料	
備考	⑮については、50分授業を1単位時間とする。単位換算については講義・演習は15単位時間を1単位、実験・実習・実技は30単位時間を1単位とする。また、単位換算は小数点以下を切り捨てる。ただし、0.5以上1.0未満のものは0.5単位とする。		科目コード 050221

授業計画（シラバス）

【2026年度入学生対象】

東海工業専門学校金山校

① 科目名		一級製図	
② 対象学科		工業専門課程 建築ライセンス科	
④ 必修・選択の別		⑤ 時間数	50
⑦ 担当教員(代表)		⑧ 実務経験	設計実務経験者
⑨ 授業形態		⑩ 授業の実施方法	対面授業
⑪ 評価基準			
提出課題を各100点満点として実施し、60点以上を合格とする。			
⑫ 授業の目的・目標			
一級建築士製図試験対策として、建築基準関係法令や建築計画・構造計画についての知識を習得し、作図力も養う。			
⑬ 授業の概要			
課題問題文を読み解き、ゾーニング・プランニング例と対比させることで設計主旨の理解力を身に付ける。その後、作図実習を通しスケーリング能力と模範的動線計画の考え方を修得する。			
⑭ 準備学習・事後学習			
学習内容について、事前に内容を1時間程度確認しておくこと。毎回、演習内容と同じ自学自習を行うこと。			
⑮ 授業計画			
1	トレース課題1 1・2階平面図	17	
2	トレース課題1 3階平面図・断面図	18	
3	トレース課題2 1・2階平面図	19	
4	トレース課題2 3階平面図・断面図	20	
5	トレース課題 階段	21	
6	トレース課題 階段・便所	22	
7	トレース課題 便所・エレベーター	23	
8	トレース課題 ホール・外構	24	
9	トレース課題 地階	25	
10		26	
11		27	
12		28	
13		29	
14		30	
15		31	
16		32	
⑰ その他		教科書 教材	配布資料 出版社： 著者：
備考	⑮については、50分授業を1単位時間とする。単位換算については講義・演習は15単位時間を1単位、実験・実習・実技は30単位時間を1単位とする。また、単位換算は小数点以下を切り捨てる。ただし、0.5以上1.0未満のものは0.5単位とする。		科目コード 050222

授業計画（シラバス）

【2026年度入学生対象】

東海工業専門学校金山校

① 科目名		総合演習（生産・積算・施工図）				
② 対象学科		工業専門課程 建築ライセンス科		③ 履修学年	1	
④ 必修・選択の別		選必A	⑤ 時間数	150	⑥ 単位数	5
⑦ 担当教員(代表)		遠藤 忠俊		⑧ 実務経験		設計実務経験者
⑨ 授業形態		講義		⑩ 授業の実施方法		対面授業
⑪ 評価基準						
試験を50点満点、レポートを50点満点として、各60%以上を合格とする。						
⑫ 授業の目的・目標						
建築生産における施工管理法、積算業務、施工図面作成についての総合的な実務能力を養う。						
⑬ 授業の概要						
実習形式授業により施工管理法、建築積算、施工図作成についてそれぞれ概論説明をした後、課題を与える。						
⑭ 準備学習・事後学習						
⑮ 授業計画						
1	生産（施工計画、品質管理）		17			
2	生産（工程管理、安全管理、原価管理）		18			
3	積算（土工事、コンクリート工事）		19			
4	積算（型枠工事、鉄筋工事、内装工事）		20			
5	施工図（杭伏せ図）		21			
6	施工図（基礎伏せ図）		22			
7	施工図（見下げ図）		23			
8	施工図（見上げ図）		24			
9	施工図（天井伏せ図・展開図）		25			
10			26			
11			27			
12			28			
13			29			
14			30			
15			31			
16			32			
⑰ その他		教科書		出版社：		
		教材		著者：		
		配布資料				
備考	⑮については、50分授業を1単位時間とする。単位換算については講義・演習は15単位時間を1単位、実験・実習・実技は30単位時間を1単位とする。また、単位換算は小数点以下を切り捨てる。ただし、0.5以上1.0未満のものは0.5単位とする。			科目コード	050224	

授業計画（シラバス）

【2026年度入学生対象】

東海工業専門学校金山校

① 科目名		総合演習（設計・都市計画）				
② 対象学科		工業専門課程 建築ライセンス科		③ 履修学年	1	
④ 必修・選択の別		選必B	⑤ 時間数	150	⑥ 単位数	5
⑦ 担当教員(代表)		内藤 義幸		⑧ 実務経験		設計実務経験者
⑨ 授業形態		講義		⑩ 授業の実施方法		対面授業
⑪ 評価基準						
試験を50点満点、レポートを50点満点として、各60%以上を合格とする。						
⑫ 授業の目的・目標						
・住宅設計業務の実務としてのデザイン知識を養い、プレゼンテーション能力を養う。						
⑬ 授業の概要						
・設計における住宅総合デザインについての知識習得授業を（15時間）。プレゼンテーション資料作成（40時間）。プレゼンテーション（5時間）。						
⑭ 準備学習・事後学習						
⑮ 授業計画						
1	住宅デザイン演習（外壁・屋根・エクステリア）	17				
2	住宅デザイン演習（外壁・屋根・エクステリア）	18				
3	住宅デザイン演習（内装・家具）	19				
4	住宅デザイン演習（内装・家具）	20				
5	住宅デザイン演習（プレゼンテーション資料作成）	21				
6	住宅デザイン演習（プレゼンテーション資料作成）	22				
7	住宅デザイン演習（プレゼンテーション資料作成）	23				
8	住宅デザイン演習（プレゼンテーション資料作成）	24				
9	住宅デザイン演習（プレゼンテーション）	25				
10		26				
11		27				
12		28				
13		29				
14		30				
15		31				
16		32				
⑰ その他		教科書	出版社：			
		教材	著者：			
		配布資料				
備考	⑮については、50分授業を1単位時間とする。単位換算については講義・演習は15単位時間を1単位、実験・実習・実技は30単位時間を1単位とする。また、単位換算は小数点以下を切り捨てる。ただし、0.5以上1.0未満のものは0.5単位とする。				科目コード	050225

授業計画（シラバス）

【2026年度入学生対象】

東海工業専門学校金山校

① 科目名		総合演習（一級学科）				
② 対象学科		工業専門課程 建築ライセンス科		③ 履修学年	1	
④ 必修・選択の別		選必C	⑤ 時間数	150	⑥ 単位数	5
⑦ 担当教員(代表)		遠藤 忠俊	⑧ 実務経験	設計実務経験者		
⑨ 授業形態		講義	⑩ 授業の実施方法	対面授業		
⑪ 評価基準						
試験を50点満点、レポートを50点満点として、各60%以上を合格とする。						
⑫ 授業の目的・目標						
一級建築士学科試験対策として、学科Ⅱ（環境・設備）・学科Ⅲ（建築法規）・学科Ⅳ（建築構造）・学科Ⅴ（建築施工）の4科目について学習する。						
⑬ 授業の概要						
一級建築士学科試験の出題範囲において、難易度Bレベルの問題解説を通し、一級建築士学科試験対策の基礎を養う。						
⑭ 準備学習・事後学習						
⑮ 授業計画						
1	学科Ⅱ_環境・設備①		17			
2	学科Ⅱ_環境・設備②		18			
3	学科Ⅲ_法規①		19			
4	学科Ⅲ_法規②		20			
5	学科Ⅳ_構造①		21			
6	学科Ⅳ_構造②		22			
7	学科Ⅳ_構造③		23			
8	学科Ⅴ_施工①		24			
9	学科Ⅴ_施工②		25			
10			26			
11			27			
12			28			
13			29			
14			30			
15			31			
16			32			
⑰ その他		教科書		出版社：		
		教材	配布資料	著者：		
備考	⑮については、50分授業を1単位時間とする。単位換算については講義・演習は15単位時間を1単位、実験・実習・実技は30単位時間を1単位とする。また、単位換算は小数点以下を切り捨てる。ただし、0.5以上1.0未満のものは0.5単位とする。			科目コード	050226	